

廣議合了爾後也

出席者組合本部湯次七郎、花水分会真山田惠外争議
員二人名ニシテ湯次七郎、座談的ニ簡單ナル候
テ花水分会真山田惠ヨリ「労働者ノ武器ハ争議デアル
我等ハ闘争ニ依ツテ自己ノ生活ノ改善ヲ爲シ得ル
ニ付テ最後迄闘争ヲ望ム云々ト激励スル所」アリタリ
後三時閉会セリ

三 爾後労働組合ノ動靜

南東化学労働組合ニ於テハ組合長湯次七郎、争議因
本場ニ等ハ速ニ介懐シテ争議因ノ結束及指導ニ努メ
居レ

石 及 申 通 一 報 候 也



勞秘第二三六三號

寫 和二年八月三十一日

警視總監 宮田 光雄

内務大臣 鈴木 喜三郎 殿
社會局 長 官 殿

平田硝子工場労働争議ニ關スル件(第二報)

(要旨)

所會有志ニ於テ調停ニ立テタルモ争議團側ニ於テ拒絶セリ
南東化学労働組合 窓ヲハ全硝子工問題ニ進展セメント策動ス

標記工場労働争議既報後ノ状況左記ノ通り

記

第 1060